令和５年度（２０２３年度）　学習の手引き（シラバス）

長野県岡谷工業高等学校

教科	工業	科目	工業情報数理	単位数	２	学年	２	科	機械科

１、科目の目標

観点	(1) 知識・技能	(2)思考力・判断力・表現力等	(3)学びに向かう力，人間性等
科目の目標	工業の各分野における情報技術の進展と情報の意義や役割及び数理処理の理論を理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。	情報化の進展が産業社会に与える影響に関する課題を発見し，工業に携わる者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。	工業の各分野において情報技術及び情報手段や数理処理を活用する力の向上を目指して自ら学び，工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

２、使用教科書・副教材

「工業情報数理」「情報技術検定問題集２・３級Ｃ言語」実教出版

３、学習の計画

		学習の内容	考査範囲	予定時数
一学期	４月 ５月 ６月	＜産業社会と情報技術＞ ＜コンピュータの基本操作とソフトウェア＞ ＜コンピュータネットワーク＞ ＜情報技術の応用＞	中間考査 期末考査	20
二学期	７月 ８月 ９月 １０月 １１月	＜ハードウェア＞ ＜プログラミングの基礎＞ ＜Ｃによるプログラミング＞	中間考査 期末考査	28
三学期	１２月 １月 ２月 ３月	＜Ｃによるプログラミング＞ ＜コンピュータ制御＞	学年末考査	22

４、評価の方法

観点	(1) 知識・技能	(2)思考力・判断力・表現力等	(3)学びに向かう力，人間性等
評価の趣旨	情報技術に関する基礎的な知識と技術をもち、社会における情報化の進展と情報化社会に生きる技術者として情報の収集、処理、活用のために必要な技能を身につけているかを観る。	情報技術を活用して情報を処理、表現することができ、諸問題の解決をめざして自ら思考を深め、問題解決方法を適切に判断する能力を身につけているかを観る。	情報技術に関する基礎的な知識と技術に関心をもち、その習得に向けて意欲的に取り組むとともに実際に活用しようとする創造的、実践的な態度を身につけようとしているかを観る。
評価区分	Ａ：「充分満足できる」状況　Ｂ：「おおむね満足できる」状況　Ｃ：「努力を要する」状況		

５、学習にあたっての注意とアドバイス

演習を通して知識の定着を図るとともに、情報技術検定３級を全員に受験させ、合格を目指し学習意欲を高める動機付けとする。